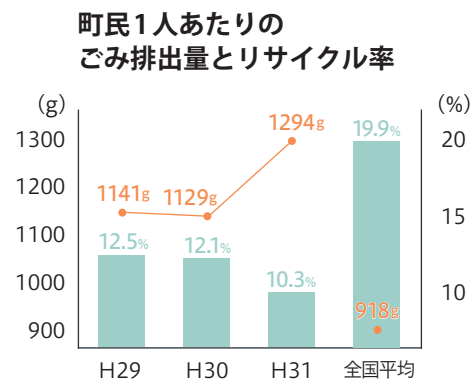




外出自粛により、テークアウト容器のゴミが増加。汚れを落として、回収ボックスへ

は、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛による持ち帰り容器や片付けごみが増加しています。

このまま、年々ごみが増え続けると、どうなるのでしょうか。収集運搬・処理などによって、二酸化炭素の排出が増え、地球温暖化に拍車をかけるだけでなく、ごみを燃やす処理の費用も増加してしまいます。

レジ袋が有料に

7月1日から、全国でプラスチック製買物袋の有料化が始まりました。国は、海洋プラスチックごみ対策や地球温暖化な

どの解決に向けた第一歩として、マイバッグの持参など、消費者ヘライフスタイルの変革を呼びかけています。

エコの意識をもって

レジ袋1枚、食材1品。一人の小さな積み重ねでごみが減り、みんなの意識が変わっていきます。使えるものを長く使ったり、ごみをかさばらないように出したり、今より少しだけ、物を大切にする気持ちをもってみませんか。その先には思いやりのあふれる、人も景色もきれいな町が待っているはずです。

マイバックを持ち歩こう！

マイバックを持ち歩けば、レジ袋購入費の節約と、資源の節約で、一石二鳥。買い物気分を上げる、とっておきのマイバックを紹介してもらいました。



石井 孝多郎さん

保冷機能付きのエコバックを使っています。コンビニでも使えるように、常に車に置いています。自宅では、食べ残しがないように家族でおいしく食事をしたり、子どもたちと一緒にお風呂に入ったりして、みんなで楽しくエコに取り組んでいます。



遠藤 摂さん

雑誌の付録のエコバックを愛用しています。最近、カゴもよく使うようになりました。会計時にレジでカゴを渡すと、店員さんがきれいに整頓しながら商品を詰めてくれます。そのまま持ち帰れるので、袋に詰め替える手間も省けて便利です。

袋詰めの手間を省けるカゴが便利です

必ず車に保冷バックを常備しています

その袋、もったいないと思いませんかー

1人約1、300g。これは本町で出る、ごみの1日の量です。年々人口は減っていますが、ごみの量は、過去3年間、増加傾向にあります。

昨年は、台風19号の影響によって、災害ごみが増加。今年

いよいよ7月から、レジ袋が有料になりました。今なぜ、エコが叫ばれているのか。ごみのことを知って、普段の生活を振り返ってみましょう。

一足早くレジ袋有料化を導入

今年4月から、一足先にレジ袋有料化を始めました。初めは戸惑うお客さんもありましたが、最近では約7割の人がマイバックを持ち込み、エコ活動に協力していただいています。

レジ袋を使う時も、なるべく環境に配慮するため、燃やした際に二酸化炭素の発生が少ない植物性由来の袋を扱っています。また、エコバックや紙ストローなどのエコ活動につながる新商品を導入したり、店内放送でエコ活動をPRするなど、できる範囲で取り組んでいます。



ウエルシア
伊達桑折店 店長
赤井 拓哉さん

コロナの影響で、片づけごみが増加

新型コロナウイルス感染拡大により家にいる時間が長くなったことで、衣類や食器、古い電化製品などの片づけごみや、せん定した草木のごみが増えています。なるべくリサイクルに回し、どうしても捨てる場合は、毎年配布しているごみカレンダー裏面の「分別ルール」を見て、分別をお願いします。

テークアウトなどで使われるプラスチック容器の汚れも目立ちます。容器の汚れをしっかりと落とし、水気を乾かした状態で専用の袋に捨てましょう。



羽山産業株式会社
代表取締役
佐藤 繁雄さん